

# 誇らし、竹原市。」の実現に向けて

令和8年度  
当初予算可決！

## 全体審査での主な質疑

### 女性の幸福感向上促進事業について

**Q** 事業効果及び推進については。

**A** 市内に住む方達の意見を聴きながら座談会や講座を開き、主体性を引き出すことにより、まちにおける活躍度を高めてもらい、満足度の向上に繋がると同時にまちの、イメージアップを狙い、定住やUターンを図りたい。また、拠点づくりに関しても重要性は認識しており、財政の許容する範囲で市民のクオリティ・オブ・ライフを高めるためにも整備していきたい。



### 企業誘致による雇用創出について

**Q** 企業誘致による雇用創出が歳入増加及び人口減少対策に資するのでは。

**A** 竹原工業団地はこれまでの取組により充足率は100%となっており、新たな工業団地を造成するとしても莫大な費用の捻出を余儀なくされるため困難である。しかし、効率的な企業誘致等を市長自らのトップセールスにより推進するとともに、現在、本市で注目を浴びているスタートアップ企業の支援にも注力していく。



### 介護人材の確保について

**Q** 高齢者の多様なニーズがある一方で、介護事業者の現実についてどのように把握して、次年度の人材確保に活かしていくのか。

**A** 次年度は次々年度から始まる事業計画を策定することから、介護事業所のみならず、実際に現場の状況をご理解されている方々にもアンケートを実施していきたい。また、全体的に人員不足が顕著な状況にはあるが、介護人材を確保するための支援を行っていく。



### 子供の未来応援事業について

**Q** 支援の目的、対象者の拡大については。

**A** 支援の目的は、市立小・中学校により多く入学して頂くこと、加えて支援金により学力向上に繋がるとされる家庭での蔵書数を増加させたり、学術施設等で知見を高めることに費やしてほしいこと等が目的であり、対象者の拡大については、他の子育て政策との兼ね合い、財源等を考慮して検討していく。



### 自然災害防止対策について

**Q** 市道の安全性の確保の取組みは。

**A** 約300キロメートルに及ぶ市道のほか、特に321橋を数え、通行時の要所となる橋梁については、すでに策定されている竹原市橋梁長寿命化修繕計画に則しながら、優先性を加味して維持補修を行っていく。



# 将来都市像「元気と笑顔が織り成す暮らし

## ■予算特別委員会

委員長 山元 経穂

副委員長 蕎麦田 俊夫

令和8年第1回定例会において、議長を除く12名で構成される予算特別委員会が設置されました。一般会計、特別会計、下水道会計の当初予算8会計が本委員会に付託され、4回の個別審査の後、市長臨席による全体審査を行い、これらの質疑を踏まえた上で討論・採決した結果、8会計議案全てを原案のとおり可決しました。

## 審査スケジュール

2/17 正副委員長互選 日程・資料請求

3/2… 個別審査 総務部・企画部

3/3… 個別審査 市民福祉部

3/4… 個別審査 教育委員会・会計課・行政委員会

3/5… 個別審査 建設部

3/10 全体審査・討論・採決

●全体審査の様子は動画でみることができます！➡



## ■委員長報告による委員長要望

●委員長報告において、以下の3点を要望しました。

- ①ICT支援員の確保や英検の補助等は、市長が政策として注力されている子育て支援の「投資」という分野に資するものであると考えるので、次年度において対処していただくこと。
- ②市長が次年度に見直しを検討されている公共施設ゾーン再整備事業について、複合施設における規模の大小、それに関連して予算の高低はあると思うが、いずれにしても市民サービスにおいて重要かつ必要な施設であるので、可能な限り早く議会や市民に計画を示していただきたい。
- ③現在の世界情勢は昨年以上に混沌としています。世界が「近く」なり、「ヒト・モノ・カネ」の繋がりがこれまで以上に密にグローバル化した現在、世界情勢の不安定は本市にも多大な影響を与えるので、もし市民生活により影響が出るような事態があれば、従前よりも速やかに国や県と連携し、臆することなく市民が安心できるように施策を断行して頂くこと。